

「タンポポ調査・西日本2015」第2回調査マニュアル小委員会報告

- 【日時】** 2013年10月19日(土) 午後1時～4時
【場所】 大阪自然環境保全協会事務所
【出席者】 鈴木(兵庫)、小川(徳島)、狩山(岡山)、木村・高島・宮田(大阪)
以上 6名
【司会】 高島(大阪自然環境保全協会) **【記録】** 木村(同)

【案件】

(1) 第1回調査マニュアル小委員会報告

① 概要

- ・日時 2013年8月31日(土) 午前9時10分～12時
- ・場所 大阪自然環境保全協会事務所
- ・出席者 鈴木(兵庫)、小川(徳島)、狩山(岡山)、芦谷(滋賀)、木村・高島(大阪)

② 調査方法(調査マニュアルも含む)について

- 1) 調査の基本的な方法:原則として前回と同じ。「サンプル(頭花と瘦果)の添付・総苞外片の状態の記録・花粉の顕微鏡観察・一定数のサンプルで雑種の解析」
- 2) 種の同定:調査者による同定→各府県事務局による同定→判定困難な標本の扱い
- 3) 調査地点の表し方とメッシュの扱い……位置情報の取得
 - ・まず、新測地系による緯度経度の記載を基本とし、メッシュ番号を併用
 - ・今回は「新測地系によるメッシュ番号」に移行→そのために、新メッシュ地図を独自に作成し、HPで公開
 - ・三島さんの開発された記録用アプリ(「ここピン」)……第1回実行委員会で、次回の調査に取り入れる方向で検討を進めることとなった。
*この方式で寄せられたデータと、各府県事務局へ送付されたサンプルを一致させるために、「登録番号」を発行し、これを調査用紙に記入していただく。→調査期間中に一定期間ごとにまとめて、各府県事務局へ知らせる。

③ 「調査用紙」の改訂について(別紙参照)

- ・「環境」の記載については、次回までに芝池氏とも意見交換をして検討。
- ・「子供用マニュアル」について、前回の作成例も参考にして検討。

④ 調査実施要項の作成・データ入力について

- ・調査実施要項:各府県実行委員会向けと一般参加者向けが必要、調査用紙が確定後、「調査マニュアル小委員会」で検討を進め、12月開催予定のスタッフ会議に提案。
- ・データ入力について:入力はエクセルへの直接入力。入力作業を助成金や科研費などを使って、アルバイトを雇って行うことを検討。

⑤ 各府県の現状報告と事務局の見込み(後述)

⑥ 今後の進め方について(小委員会報告参照)

- ・調査組織名:「タンポポ調査西日本実行委員会」(代表:布谷知夫、副代表:武田義明)、調査名「タンポポ調査・西日本2015」とする。
- ・事務局・会議の持ち方・データ処理体制・HP・ML・各府県事務局・後援名義申請・雑種タンポポの解析方法などについて確認。

⑦ 今後の予定について(後述)

(2) 「調査用紙」の改訂について（以下の部分を書きなおす）

① 前回での決定事項

- ・ 名称・年度を変更する。「タンポポ調査・西日本2010」→「・・・2015」
調べた日：2010年 月 日→201□年 月 日
- ・ 環境の記録について……「タンポポのあった場所の様子」
「D. 田んぼや畑、果樹園、農道など」→「D. 田畑、あぜ道、果樹園、農道など」
「G. 道路沿い、分離帯」→「G. 車道沿い、分離帯」
- ・ 緯度・経度の記載……前回同様に記載するが、そのデータの情報源を明記してもらう（例えば、国土地理院HP、GPS、携帯電話、その他）。
- ・ コピンデータと送付するサンプルを一致させるための登録番号の記入を追加。

② 本日の検討事項

- ・ 環境の記載について→検討の結果、大きな変更はしないことに決定。
- * 参考：芝池氏らの「雑種タンポポの分布と景観構造の関連解析（つくば市）」では、5つの「景観タイプ」として環境を区分（カッコ内は細分された調査地点の特徴）
 1. 二次林（ケヤキ樹林内・神社境内・雑木林縁・雑木林傍草本群落・貝塚脇林縁）
 2. 田園（水田畔畦・水田放棄地・竹林縁・水田脇造成地・新造成公園広場）
 3. 緑多い市街地（並木地区：公園残存林縁・公園広場・公園林床・住宅地内植込み）
 4. 市街地（荒川駅地区：公園広場・神社境内・古い駐車場・駐車場）
 5. 造成地（造成地の草本群落・造成裸地）→在来種はタイプ1～3のみ（1で60%）、3・4倍体雑種は2～5、雄核は2～4

(3) 調査の進め方について

- ① 「関西広域連合」との連携について：広域連合事務局（環境保全担当）の三宅もえ氏（滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課）からの申し入れに基づき、事務局担当者＋布谷代表とで連絡を取り合い、佐久間氏のアドバイスもいただいて、現時点では下記のような形でまとまりつつある。
 - 1) 2015年調査については、共催ではなく後援という形態とする。
 - 2) 今回の調査データだけでなく、過去（前回）のデータを提供してほしい。それを用いて専門家による解析を行う（生態系レッドにおける里山的環境の抽出？）。
 - 3) それに対して、関西広域連合からタンポポ調査実行委員会に対して、「データ1件につきいくら」という形での財政的支援を行う。また、「チラシ印刷費」の支出も出も検討中で、これらは現在来年度予算に向けての予算どりを始めているところで、年度末？まで結論は出せない。
- ② 「NTT西日本」からの協力の申し出について
 - * 保全協会と環境貢献事業で協力関係にある「NTT西日本」がタンポポ調査に興味を持っていただき、協力の申し入れがあり、10月2日に第1回の打合せを行った結果、連携の可能性があることがわかり、双方とも前向きに検討を進めていくこととなった。詳しい報告は三島さんのメモがあります。
 - ・ 日時：2013年10月2日(水)14時～17時
 - ・ 場所：保全協会事務所
 - ・ 出席者：保全協会から金谷・岡・木村、タンポポ調査委から鈴木(兵庫ヒト博)
 - ・ 三島(九州大博物館准教授)、NTT西日本(環境経営推進室)から折口・乃市

・会議メモ

1. タンポポ調査（1975大阪→2005近畿→2010西日本）の目的：身近な自然に興味を持ってもらうこと＋環境指標調査・生物多様性調査
 2. 調査のポイント：位置情報・サンプルの採取・花粉観察による同定確認・DNA解析などによる雑種判定→今回からココピン(三島氏ら開発、調査地点の記録とタンポポの写真を添付しておくってもらうスマホのアプリ)を導入
 3. タンポポ調査での2つの問題点(人手と時間がかかる)：正確な位置情報の確認＋頭花や花粉観察から種名を同定
 4. NTT西日本としてはできること：人的貢献（7.3万人の社員関係者への調査参加呼びかけ）＋技術的貢献（今回の打ち合わせで模索、環境貢献だけではなく開発には将来的な一定の収益性も必要：ビジネスモデル）
 5. 技術的貢献の可能性（現時点で考えられること、実現は？）：写真からタンポポの形態を識別して種を判定するシステム(花粉も入れるか?)の開発＋市民参加型調査データ（ビッグデータ）から調査結果のアウトプットシステムを開発(ココピンの弱点克服)＋タイムスケールマップ(結果の経時的変化を表示)
- ③ 調査実施要項の作成・データ入力について
- 1) 調査用紙：一般向けに加えて、「子供用マニュアル」を作成してはどうかという意見があり、前回の作成例も参考にして検討をしたい。
 - 2) 調査実施要項：調査実施要項……各府県実行委員会向けと一般参加者向けが必要→「調査マニュアル小委員会」で検討を進め、12月開催予定のスタッフ会議で決定。
 - 3) データ入力：入力はエクセルへの直接入力で行う、助成金や科研費などを使って、アルバイトを雇って入力作業進めることも検討。
 - ④ 科研費・助成金の獲得について
 - ⑤ その他

(4) 各府県の現状報告と事務局の見込み

*前回の小委員会以後、広島県と奈良県で事務局が確定した。その結果、現時点では、福井県・京都府・和歌山県・山口県の5府県で事務局の見込みが立っていない。また、鳥取県・香川県についても確認が必要。福井県は「自然保護指導員の会」総会10月26日で結論。

(5) 今後の予定・進め方

12月14日	第1回スタッフ会議
	*調査用紙の確定→印刷・府県事務局の確定
2014年 1月～2月	調査への参加呼びかけ
3月	第2回実行委員会（兼現地説明会・講習会）
3月～4月	各府県・ブロックでの説明会・講習会の開催
3月～5月	予備調査の実施→調査用紙回収（6月10日）
5月～6月	調査用紙・サンプルの処理・花粉観察・データ入力
9月下旬	*データ入力締切（今回はやや遅くする）
10月～	予備調査結果の解析→中間報告書の作成(～12月)
11月	第3回実行委員会（本調査に向けて）
～12月末まで	本調査時の事務局の確定と調査用紙の印刷
2015年 2月～3月	第4回実行委員会（兼現地説明会・講習会）

3月～5月	本調査の実施
6～12月	本調査結果の解析（西日本全体・各府県別）
2016年 3月まで	最終報告書の作成・報告会の開催

<当面の予定>

① 第1回スタッフ会議

- ・日時：12月14日（土）13時～16時
- ・場所：大阪自然環境保全協会事務所（同上）
- ・内容：処理マニュアルの検討、各府県事務局の決定、調査方法の確定→調査用紙の印刷

② 第2回実行委員会（兼、現地説明会・講習会）……横川・佐久間氏に連絡済み

- ・日時：2014年3月2日（日）
- ・場所：大阪市立自然史博物館
- ・午前10時～12時 一般向け調査説明会（於 長居公園～自然史博集会室）
- ・午後1時～4時 サンプル処理説明会＋第2回実行委員会（自然史博 新実習室）

③ 第2回スタッフ会議・サンプル検討会

- ・日時：2014年6月下旬
- ・場所